

(2) 助産師の資質の向上

- ① 資質の向上を図るため、新人助産師合同研修の実施、助産師出向支援事業、助産師外来・院内助産所の普及など、院内及び院外における研修体制の充実に努めます。
- ② 県立保健医療大学や県看護協会などの関係機関との連携のもと、生涯学習を推進します。

## 6 看護師・准看護師

看護師・准看護師（以下「看護師等」という。）は、患者の生活の質の向上を目指し、より良い医療・看護サービスを提供するために、他の医療関係職種と連携して、療養生活支援の専門家として適切な看護を提供していくことを目指しています。また、在宅医療等において質の高い安全で安心な医療を提供するためにも、看護師等の安定的な確保と資質の向上を図る必要があります。

### 【現状・課題】

- (1) 県内には、看護師等の養成施設として、大学看護学科2校、看護師3年課程5校、看護師2年課程4校、5年一貫課程3校、准看護師課程9校が設置されています。（看護師通信教育課程250人と助産師課程10人を除いた1学年の定員は1,015人）

平成29年3月卒業者で看護業務に就業した609人のうち454人（74.5%）が県内の医療機関に就業しており、引き続き、県内就業率の向上が必要です。

- (2) 県内で就業している看護師等の人数は、15,139人（平成28年末現在）で、看護師が11,000人（72.7%）、准看護師が4,139人（27.3%）となっています。

人口10万人当たりの県内の看護師数は1,131.7人で、全国平均の905.5人を上回っています。准看護師数は425.8人で、全国254.6人を上回っていますが、平成18年以降減少傾向にあります。

人口10万人当たりの就業者数を圏域別にみると、高松・中讃圏域は高く、大川・小豆圏域は低くなっています。

就業場所別にみると、病院が9,465人（62.5%）と最も多く、次いで診療所2,626人（17.3%）介護保険施設、社会福祉施設等2,382人（15.7%）、訪問看護ステーション301人（2.0%）、看護師等学校養成所又は研究機関が223人（1.5%）、その他142人（1.0%）となっています。

- (3) 医療の高度化・専門化や高齢化に伴う訪問看護の増加など、多様化する看護業務や看護体制の充実に対応するためには、看護師等の確保と資質の向上を図ることが、引き続き重要な課題となっており、新卒者の定着促進、専門職として働きがいのある職場づくり、子育てや介護などでキャリアを中断せず継続して働き続けることのできるワーク・ライフ・バランスの実現などが求められています。

- (4) 2025年に向けて、さらなる在宅医療等の推進を図るために、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助を行う看護師を養成する「特定行為に係る看護師の研修制度」が平成27年10月に開始されました。

平成29年3月現在、県内では、指定研修機関が1施設、特定行為研修を修了した看

看護師は3名となっています。急性期医療や慢性期医療、在宅医療等のそれぞれの場で、患者の状態を見極めて、適時に看護を提供する等の活躍が期待される修了者の養成のため、働きながら身近な場所で研修を受けられる研修体制の整備等が必要です。

卒業者就業状況（香川県）

（平成29年3月現在、単位：人）

区 分		卒業 者数	看護業務就業			県内就業率 (%)	進学者	看護業務 以外就業	その他	
			県内	県外	計					
保健師 看護師	大学	133	57	60	117	48.7%	9	6	1	
助産師	大学	10	6	4	10	60.0%	0	0	0	
看護師	3年 課程	養成所	200	130	49	179	72.6%	6	5	10
	2年 課程	全日制	63	45	13	58	77.6%	0	0	5
		定時制	39	38	1	39	97.4%	0	0	0
		通信制*1	201	17	139	156	10.9%	0	0	45
		小計	102	83	14	97	85.6%	0	0	5
		5年一貫教育	94	67	13	80	83.8%	2	8	4
	計	396	280	76	356	78.7%	8	13	19	
准看護師	衛生看護科	56	4	4	8	50.0%	47	1	0	
	養成所	166	107	11	118	90.7%	44	0	4	
	計	222	111	15	126	88.1%	91	1	4	
合 計		761	454	155	609	74.5%	108	20	24	

\*1 看護師2年課程通信制は合計から除く

（香川県医務国保課調）

就業状況（香川県）

（平成28年12月末現在、単位：人）

年 次	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
平成16年	466	227	7,918	4,295	12,906
平成20年	504	247	8,749	4,309	13,809
平成24年	508	274	9,841	4,194	14,817
平成28年	539	270	11,000	4,139	15,948

厚生労働省「衛生行政報告例」（平成28年）

修士課程入学者の受験時の所属先別人数

勤務先名称等/入学年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	計	分類	
香川大学医学部看護学科(教員)	5	2		1	1	2			2	4			1				3		1			22	香 川 県 内	
香川大学医学部看護学科(実習補助)																				1		1		1
香川大学医学部附属病院	3		2	2	1	5	3			3	2	12	3	3	3	1	2	2	4	5	1	57		
香川大学医学部保健管理センター				1																		1		1
香川医療生活協同組合訪問看護ステーション ひまわり			1																			1		1
香川医療生活協同組合訪問看護ステーション みき									1													1		1
香川看護専門学校		1	1				1																	3
香川県看護協会																					1			1
香川県済生会病院		1																						1
香川県中讃保健福祉事務所				1																				1
香川県東讃保健福祉事務所						1																		1
香川県立がん検診センター					1																			1
香川県立白鳥病院		1																	1					2
香川県立高松高等学校(養護教諭)																	1							1
香川県立中央病院				2	1																			3
香川県立飯山高等学校看護科(教員)									1															1
香川県立保健医療大学(香川県立医療短期大学)(教員)	5	2	4	1			1																	13
香川県立丸亀病院				1			1													1				3
香川小児病院			1									2												3
回生病院										1				1										2
穴吹医療カレッジ(教員)									1		1	2												4
綾川町役場(保健師)								1																1
木田郡医師会附属看護学院(教員)								1																1
キナシ大林病院												1												1
坂出市立病院															1									1
坂出市医師会附属看護学院(教員)									1															1
阪本病院												1												1
しおかぜ病院											1													1
四国医療専門学校(教員)																		1		1				2
四国電力(株)		1																						1
社会福祉法人 エデンの丘																	1							1
私立 尽誠学園高等学校(教員)			1																					1
普通寺病院							1				1													2
普通寺病院附属普通寺看護学校(教員)									1															1
高松医療センター												1					1							2
高松市地域包括支援センター										1		1												2
高松市民病院													1											1
高松市役所 健康福祉部保健センター	2				1		1		1		1	1	1											8
高松市立屋島西小学校(養護教諭)																	1							1
高松赤十字病院					1				2				1						1		1			6
詫間町役場(保健師)							2																	2
西日本電信電話(株)四国健康管理センター												1												1
ハイクリップス(株)			1																					1
橋本病院																		1		1				2
守里会 看護福祉専門学校(教員)													1											1
守里会 特別養護老人ホーム 返里苑													1											1
三木町役場(保健師)																1								1
三豊市立西香川病院																	1		1					2
栗林病院							1						1											2
(株)ジェイテクト香川工場(保健師)																		1						1
徳島県看護協会		1																						1
徳島県立看護学院(教員)									1		1	1												3
徳島県立中央病院				1																				1
徳島市民病院			1																					1
徳島大学医学部保健学科(教員)					1																			1
徳島大学病院		1	1	1	1	2																		6
国立療養所 徳島病院				1																				1
東徳島病院							1																1	
三好保健所											2												2	
愛媛県立看護専門学校(教員)						1																	1	
愛媛労災病院								1	1														2	
高知大学医学部看護学科(教員)	1																						1	
岡山市役所 健康づくり課保健所																						1	1	
川崎医科大学総合医療センター																						1	1	
川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科(教員)	1																						1	
玉野三井病院								1															1	
福山市民病院																		1					1	
瀬戸内短期大学看護教育学科(教員)			1																				1	
京都大原記念病院																		1					1	
田辺中央病院												1											1	
ペルランド看護助産専門学校(教員)												1											1	
神戸大学医学部附属病院																						1	1	
奈良県立医科大学(教員)				1																			1	
東邦大学医学部附属大森病院			1																				1	
普連土学園 中学校・高等学校(教員)						1																	1	
星ヶ丘厚生年金保健看護専門学校(教員)													2										2	
鹿児島市医師会病院		1																					1	
有職者計	17	12	14	14	8	14	10	5	10	9	8	29	8	6	3	3	8	8	8	10	5	209		
無職者計						1			1			1	1	1	1	2	3	3		3	4		21	

# 健やか香川21ヘルスプラン

## 香川県健康増進計画

トップページ

重点目標

ライフステージ



### 香川県の健康シンボルマーク 健康キャッチフレーズ

「健康シンボルマーク」は、人が両手を肩にあげてガッツポーズをしている力強い姿を表現しています。緑・赤・青の三色は健康づくりの3要素、栄養・運動・休養とともに、魅力ある田園都市・健全な心身・青い瀬戸内海をも意味しています。

「健康キャッチフレーズ」は、健康づくりは自覚と実践が大切であることを表しています。

### 「健康長寿かがわの実現」を目指して

県民だれもが、心身ともに健康で生きがいのある長寿を！

21世紀の本格的な少子高齢社会を迎え、県民誰もが生涯を通じて、健康で明るく生きがいをもって暮らせる社会を実現し、増大する医療・介護などの社会的負担の軽減を図るため、香川県では「健康長寿かがわの実現」を目標とする「健やか香川21ヘルスプラン」を策定しました。この計画に沿って、県

民自らが健康づくりに取り組むことを基本に、ライフステージに応じた健康づくりを総合的に推進し、健康寿命（介護を要せず健康で自立して暮らすことができる期間）を伸ばすことを目指します。

## 香川の現状

平成17年度に、「健やか香川21ヘルスプラン」の中間評価を行った結果、肥満者の割合や朝食の欠食率など、改善が進んでいない項目がありました。栄養の偏りや運動不足を原因とする生活習慣病は、依然として増加しており、医療・介護など社会負担の増大が問題になっています。

また、香川県の健康寿命（平成17年の介護保険統計を用いた平均自立期間）は、男性76.41歳、女性80.21歳、支援や介護が必要な非自立期間は男性で1.84年、女性で4.32年となっています。

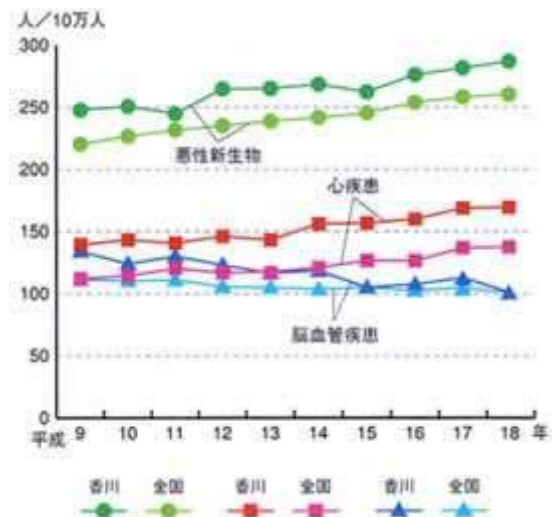
### 香川県の健康をとりまく各分野の現状

- 高齢化の進行 ● 生活習慣病の増加
- 要介護者などの増加 ● 社会保障負担の増大
- 健康をめぐる身近な問題や新しい課題の増加  
インフルエンザ、食中毒、0157、アレルギー、アトピー、環境ホルモンなど



健康づくりが大きな課題

### 三大生活習慣病死亡率年次推移



## 計画の特徴

### ①一次予防の重視と機能回復支援

### ②県民本位の視点

- ライフステージごとに総合的な実践指針を設定 ● 身近な健康問題も重視
- 健康情報の積極的な提供 ● 健康づくりの基盤整備

### ③できる限り実践的な計画に

- 数値目標化 ● 施策の具体的視点を提示

## 計画の期間

平成13年（2001年）度から平成24年（2012年）度（目標年度）までの12年間

平成17年（2005年）度（中間年度）に中間評価と見直しを実施

平成19年（2007年）度に指標の追力口等の一部見直しを実施

## 計画推進のイメージ

### ● 計画の概要図

## 自主的な健康づくりの推進

- ①食習慣の改善による健康づくりの推進
- ②運動習慣の改善による健康づくりの推進
- ③生涯を通じた歯科保健対策の推進
- ④心の健康づくりに対する社会的な支援
- ⑤たばこ対策及びアルコール対策に対する社会的な取り組み

## 地域リハビリテーション体制の整備

## 身近な健康施策の推進

### 健康長寿かがわの実現

#### ●推進体制

#### 健康づくり活動

#### 県民

- 正しい生活習慣を身につける**家庭**
- 地域**における健康づくりの自主的な取り組み
- 健康づくりの学習の場としての**学校**
- 労働環境の改善や産業保健の向上を図る**職域（企業）**
- 保健・医療・福祉関係団体、ボランティア等**の積極的な参画

#### 自主的な健康づくり (自己管理)

#### 県

#### 市町

- 県計画 ●施策の実施
- 推進活動支援
- 環境整備
- 評価

- 市町計画 ●施策の実施
- 推進活動 ●環境整備
- 評価



#### 健康づくり審議会



#### 健やか香川21県民会議（健康づくり関係者の連携）

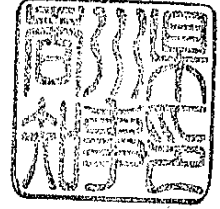
[トップページへもどる](#)

Copyright c Kagawa prefecture. All rights reserved.

令和3年2月15日

国立大学法人香川大学長  
 篤 善 行 様

香川県知事 浜 田 恵 造



## 地域の健康力向上を目指す看護実践者の養成について

香川大学におかれましては、これまで、地域の知の拠点として、地域を支える優秀な人材を多数輩出するとともに、希少糖研究や防災、危機管理などをはじめ、様々な分野で地域活性化に貢献しておられます。

医学部におかれましては、地域医療に貢献できる医師、看護師及び実践力のある心理援助者の育成と世界に通用する視野をもつ医療人・研究者の輩出に貢献しておられ、中でも看護人材の育成については、大学院医学系研究科において、平成12年に看護学専攻博士前期課程を設置し、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる看護人材を育成されています。

これまで、貴学で学ばれた人材が貴学部附属病院を始めとする県内の地域医療を支える医療機関において、県民の生命と健康を守るため日夜尽力されておられることは、大変心強く感じているところであります。

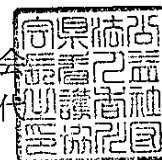
しかしながら、本県では、高齢化の進行に伴う疾患の罹患者数、認知症患者数の増加によって、要介護者数が大幅に増加しております。また、少子化、自然災害、感染症など社会的な課題が増加する中、人々の健康を支え守る、相互支援社会の構築を学問的に牽引できる看護実践者、教育・研究者を育成することが求められています。

第7次香川県保健医療計画において、看護職の県内定着の推進及び、県内の看護教育や医療・保健福祉分野での看護の質の向上を図ることを目標に掲げている中で、貴学におかれては、県内唯一の医育大学として、引き続き医学教育研究や県民の健康寿命の延伸と健康水準の向上に、ご貢献いただくために、医学系研究科看護学専攻課程博士後期課程を新たに設置していただき、看護実践力を発揮できる継続的な人材の育成を実現されることを切に要望します。

香看協発第 310 号  
令和 3 年 1 月 4 日

国立大学法人香川大学  
学長 笥 善行 殿

公益社団法人香川県看護協会  
会長 安藤 幸代



香川大学大学院医学系研究科  
看護学専攻博士後期課程設置に関する要望書

時下ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。

日頃から当会の活動に多大のご支援、ご協力を頂き厚くお礼申しあげます。

さて、少子超高齢社会において看護ケアの対象者は多様化しており、看護の領域に対するニーズは増加しております。そのため看護職には、より広範で、より高い能力・技術が必要とされており、臨床現場では、実践力・判断力が求められています。

貴大学においては、平成 8 年看護学科を設置され、平成 12 年には大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）を設置するなど、修了生は県内の教育施設や臨床現場で活躍されています。また、令和 2 年看護学専攻助産学コースを設置し、高度な教育を受けた助産師を養成されており、我々看護職の期待は大きなものがあります。

当会におきましては、看護の質向上のため、看護研修にも力を注いでいるところではありますが、次代のニーズに応えられる看護人材を育成するためには、看護を学術的に探究された人々の養成が必須であります。

今後、少子超高齢社会における健康寿命の延伸と健康 QOL の向上を図るため、人々の健康を支え守る、相互支援社会の構築を学問的に牽引できる看護実践者、教育・研究者を養成するための大学院博士後期課程の開設を要望いたします。



## 参考資料の出典等

### 資料3

出典：香川県健康福祉部医務国保課「第七次香川県保健医療計画」

閲覧元ホームページ：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/imu/iryokousou/sub21.html>

### 資料5

出典：香川県健康福祉部健康福祉総務課「健やか香川21ヘルスプラン 香川県健康増進計画」

関連ホームページ：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkosomu/kenkodukuri/health/digest.html>